

令和4年度第2回大曲地域協議会会議録

令和4年7月29日

大曲地域協議会

令和4年度第2回大曲地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■関係機関、団体職員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■協議	
(1) 会議録署名委員の指名	3
(2) 地域課題協議について	3
■報告	
(1) 令和4年度地域枠予算の活用状況について	1 1
■その他	1 2
■閉会	1 2
■署名	1 3

■日 時：令和4年7月29日（金）午後6時

■会 場：はなび・アム 2階大研修室

■出席委員：10名

熊谷 公、鎌田 俊、後藤 仁美、柴田 裕子、須田 忠夫
戸嶋 真紀子、生田目 マキ子、成田 麗子、松塚 孝治、三浦 隆吾

■欠席委員：4名

根田 朋子、佐々木 浩、佐藤 純也、佐藤 芳紀

■関係機関・団体職員：13名

五十嵐 秀美（大仙市観光物産協会局長）
大澤 貴 広（大仙市観光物産協会副主幹）
蓮 沼 素 子（総務課アーカイブズ副主幹）
小山田 雄 弥（若者チャレンジ推進室主査）
竹 村 宏 之（花火産業推進課花火伝統文化継承資料館館長）
高 橋 あゆみ（花火産業推進課花火伝統文化継承資料館副主幹）
松 井 一 樹（花火産業推進課花火伝統文化継承資料館副主幹）
近 孝 義（花火産業推進課花火伝統文化継承資料館主事）
三 浦 成 美（花火産業推進課花火伝統文化継承資料館主事）
山 崎 兼 人（観光振興課課長） 鈴木 一 徳（観光振興課主査）
鈴木 愛 理（文化財課主事） 小 松 文 彦（教育指導課教育研究所所長）

■出席職員：5名

山信田 恭 弘（地域活動応援課長）
高 橋 靖 弘（地域活動応援課主幹） 遠 藤 彩 希（地域活動応援課主幹）
三 浦 雄 雄（地域活動応援課副主幹） 佐 藤 洋 平（地域活動応援課主任）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 「はなび・アム」館内視察
- 4 議 題
 - (1) 会議録署名委員の指名
 - (2) 地域課題協議について
- 5 報 告
 - (1) 令和4年度地域枠予算の活用状況について
- 6 そ の 他

7 閉 会

(午後 6時 開会)

○事務局(高橋主幹)

本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。

定刻になりましたので、ただ今から令和4年度第2回大曲地域協議会を始めさせていただきます。

はじめに、熊谷会長よりごあいさつをお願いします。

○熊谷公会長 (以下、会長と表記)

みなさんこんばんは。

皆様お忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。

今年度、地域協議会の会長をさせていただいている熊谷と申します。よろしく願いいたします。

いつもは、市役所で会議しているんですけど、今日は、我々の協議内容と深く関わりのある地域の観光拠点「はなび・アム」の方で会議をさせていただきます。

ご用意いただきました皆様大変ありがとうございます。

また、我々はここ数年、ずっとこの観光拠点をいかに活用できるか議論して参りました。

せっかく今日ここ「はなび・アム」で会議ができるということでしたので、それぞれの関係機関、代表の皆様にもお越しいただきました。本当にありがとうございます。

皆様の中には、「はなび・アム」に来たことがあっても、中まで深く入ったことがない方もいらっしゃるかと思います。

今日はせっかくの機会でもありますので、このあと館内の見学を予定しております。見て回って我々の議題にいかに活用できるか、そして、大曲地域が、いかに発展するかに繋がる協議になると思いますので、限られた時間ではありますけれども皆さんどうか活発なご意見を出し合いながら、よりよい会議にさせていただきますようご協力をお願いいたします。

それでは今日もどうかよろしくお願いいたします。

○事務局(高橋主幹)

それではここで、本日の協議会の日程をご説明いたします。

事前にお配りしております、資料の「当日の日程及び協議の進め方」をご覧くださいと思います。

【資料の「当日の日程及び協議の進め方」を説明】

それでは、このあと「はなび・アム」館内を視察したいと思います。「はなび・アム」の松井さん、よろしく願いいたします。

【「はなび・アム」館内を視察】

○事務局(高橋主幹)

みなさま大変おつかれさまでした。

協議に入る前に本日の資料の確認をさせていただきます。

①次第

②委員名簿・配席図

③当日の日程及び協議の進め方

④資料 No. 1 大曲地域協議会における地域課題検討資料

⑤資料 No. 2 令和4年度第1回大曲地域協議会協議内容

⑥資料 No. 3 令和4年度第1回地域協議会会議録抜粋資料

⑦資料 No. 4 令和4年度地域枠予算活用事業一覧

以上でございます。お手元に無い場合はお知らせ下さい。

このあとの進行については、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、熊谷会長にお願いいたします。

○会長

それでは、会議をはじめます。

本日は、根田朋子委員、佐藤純也委員、佐々木浩委員、佐藤芳紀委員から欠席の届出がされまして、出席委員は10名となっております。

委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。

それでは、次第4の会議録署名委員を指名いたします。

会議録署名委員は、鎌田俊委員と戸嶋真紀子委員にお願いいたします。

続きまして、議題の2に移ります。

「地域課題協議について」を議題といたします。

前回は、2つのグループのなかで、それぞれ関連する機関の抽出や関連機関・団体と話し合う際の確認したい事項などをご協議いただきました。

本日は、これまで協議した活性化策に関連する機関・団体の方々のご出席しておりますので、まず初めに、グループ内におきまして、委員の皆様からこれまで協議した活性化策・取り組みを5分程度発表していただきたいと思います。

そのあと、関連する機関・団体の皆様が発表していただいた活性化策・取り組みについて

、一緒に取り組んでいける部分の発表をお願いしたいと思います。また、各機関・団体で行っている活性化に繋がりそうな事業の紹介も併せて発表をお願いしたいと思います。

発表が終わりましたら、互いの発表を基にいただきまして、意見交換をお願いしたいと思います。

意見交換は、取り組みの実施に向けて、委員の皆さんから関連する機関・団体の皆様への質問やご意見、また、関連する機関・団体の皆様からの提案などごつくばらんをお願いしたいと思います。

そして、最後にグループ内で話し合われたことを全体発表して皆さんで共有を図りたいと思います。

今回もグループ内で、進行役と報告していただく方を決めてから協議に入ってください。時間の方は、19：20まで50分ほどとりたいと思いますのでよろしく申し上げます。それでは始めてください。

【グループ協議】

○会長

少々時間オーバーしましたがけれども、皆さん活発な議論を本当にありがとうございます。

それでは各グループから報告をお願いしたいと思います。

時間は各グループ5分くらいでお願いします。

まずは、Aグループからお願いします。

○松塚孝治委員

Aグループの松塚です。よろしくお願いいたします。

まず周辺小売店との連携について話がありました。

駅周辺の小売店とJRがこまちの25周年記念に併せて駅カードを5000枚作成しております。

子どもたちに大人気で、店でいくらか買えばそのカードがもらえる。

カードがあることを私は知りませんでしたので、もっとPRが必要なのではないかと考えております。

あと駅カードの他に市町村マンホールカードもあるそうです。

花火玉カーリングということで、はなび・アム隣の別館でやれるような環境が整っているということです。まだ実施はしてありません。

それからチャレンジショップですけれども、だいせんラボさんと連携しまして、店を新しくやりたい、資格があったり、自分の特技を利用してお店を出したい人が、52件くらい相談にきている。

ブランカの貸しスペースなどで、飲食店をやりたいとか健康運動指導士など自分の資格と特技を利用して店を出したいという人も相談に来ている。

あと駅にピアノがあるが、空き店舗に置いて自由に弾くことができないかという話がでましたが、調律するにもお金がかかるので大変だという話がでました。

○鎌田俊委員

出た内容の問題点は確認できたので非常に有意義だったと思います。ただ、私たちが考えているのは、はなび・アムを中心とした周辺の取り組みがひとつの課題となっておりますので、このはなび・アムに来た人をどうやって周辺を歩かせるかということと、駅に来た人をどうやってはなび・アムまで歩かせるかということの2点が全然問題解決になっていなかったもので、今後の市役所の人たちとの連携で、進めていく必要があるということがわかりました。

○会長

ただいま、Aグループから報告していただきましたが、Bグループの皆さんから質問・ご意見などございませんでしょうか。また、Aグループの皆さんから補足などございませんでしょうか。

戸嶋委員何かございませんか。

○戸嶋真紀子委員

8/21 花火玉カーリング実施と書いてあるんですけど、この日は何かの日ですか。

○三浦隆吾委員

夏まつりの日に花火玉カーリングを実施するというので今進んでおります。まだ花火玉カーリングを知らないという方がいらっしゃると思いますので是非そのときに見に来ていただければと思います。

○戸嶋真紀子委員

場所はどちらでやられるんですか。

○三浦隆吾委員

ペアーレの前あたりを予定しております。

○会長

補足説明をいたしますと、大曲商工会議所青年部で、花火大会の1週間前の市民夏まつりで、花火玉カーリングを予定しております。

更にその後、種苗交換会の時にも、大曲青年会議所青年部で花火玉カーリングをさせていただきたいということで提案しております。

他に何かある方いらっしゃいませんか。

生田目さんお願いします。

○生田目マキ子委員

起業したいという方が相談にいらっているということでしたが、ちょっとうれしくなりました。

この静かな所に、何かを出したい、こうしたいという方がいらっしゃるということは、きっと大仙市も良い方に向かうのではないかと思います。

私ごとですが、私は美郷町でアルバイトをしておりますが、観光客がちょこちょこ歩いているんです。六郷はいろんな清水もあるし、お店も結構あるし、前にスーパーがあったところに喫茶店を開いたりして入りやすいものがちょこちょこあって、駅からはなび・アムまで来る間に、そのような店があればいいなと思っています。

○会長

他に何かありますでしょうか。

はい、後藤さん

○後藤仁美委員

起業したい方のざっくりとした起業内容がわかれば教えていただきたいのですが。

○若者チャレンジ推進室 小山田雄弥 主査

自身の特技や資格を活かしたいということで、具体例としてあるのが健康運動指導士です。月いちで、イオン大曲さんの中央のスペースでイスに座って健康体操といことで、お話をしたり、体操だったりということで行っております。そういったことをやってみたいという相談がありました。また、Y o u T u b e をご覧になっているかたもいらっしやれば、見ない方もいらっしやると思いますが、そのY o u T u b e 上でいろんな方がいろんなことやっているという現状があります。そのようなことをチャンスだと思ったイラストレーターさんで絵の得意な方が、Vチューバーというのは皆さんご存じでしょうか。生身の体でやるのがユーチューバー、アニメで描いたキャラクターがY o u T u b e の中で動いたり、躍動するのがVチューバーといんですけれども、そのデザインを手がける仕事をしたいという相談もありました。また猫好きな方が保護猫カフェをやりたいという相談もありました。

我々が立ち上げただいせんラボという所ですけれども、正直、そんなに相談があるものかというのは懐疑的だったんですけれども、いぎ蓋をあけてみると、何かやりたいという思いを持っている人は、思ったよりもいるというのが正直なところなんです。まだまだこれからもいろんな相談がでてくるのかなと思っています。

○会長

他に何かある方いませんか。

○鎌田俊委員

例えば空き家とか、空き地等を利用して起業したいという方、そういう人たちに対しての設備投資などの助成金はありますか。

○若者チャレンジ推進室 小山田雄弥 主査

創業、起業、開業に特化した助成金というのはございます。スタートアップとして上限30万円で補助率2分の1。例えば空き家を改修するとか、若い方、女性の方がやるとなると助成金が加算されているという仕組みの助成金があります。

また、だいせんラボとしても、助成金を立ち上げました。これは、クラウドファンディングを行ってもらおうというのが前提となっております。クラウドファンディングというのは、これから私はこういうことをやりたいんですということに対して誰か支援をし

てくれませんかということでお金を集めるという仕掛けです。そういうことをやるにあたっては、クラウドファンディングの組成会社に手数料を払ったり、資金を提供してくださった方にお返しという形でいろんなバックをしていくんですけど、そういった所にお金がかかっているの、その部分に対して助成しております。クラウドファンディングで集めたお金は、全額自分がやる事業に使ってもらいたいという仕掛けの助成金を作っております。

○会長

他にありませんでしょうか。

なければ、Aグループの発表はこれで終わりたいと思います。

続きまして、Bグループの発表をお願いします。

○後藤仁美委員

それではBグループの発表をしたいと思います。

Bグループでは、大まかに「地域の案内人」、「小中学校におけるはなび・アムの活用」、「大曲の偉人」の3つについて話し合いました。

まず「地域の案内人」では、おもてなしマイスターに声をかけてみたらどうかということを、これまでの地域協議会でお話をしましたけれども、実際の現状について話をしました。

現在、中学生の案内人の育成を行っているそうです。中学生にウォーキングイベントを行って、諏訪神社とか花火会場などの花火関係施設に実際に歩きにいったそうです。そうすると花火以外の施設を知ることができて、御本陣などそういった所にも足を運ぶ地元のお子さんが増えたといことです。

あと、観光物産協会からは、おもてなしマイスターについて、ボランティアだと難しいということなので、今年度、旅行業の資格をとる方向で予算をとってやっているそうです。また、大曲全体の観光に力を入れるため組織の見直しをしている最中という話もありました。

文化財課からは、おもてなしマイスターの育成に向けての定期学習会を開催しているそうです。

次は、「小中学校におけるはなび・アムの活用」に関してですけれども、はなび・アムを訪れる方の中には、やはりレストランを求めて来る人が多いそうです。お客様の中に、はなび・アムの周辺に食事出来る場所が欲しいといった意見が聞かれるそうです。

小学校では、タブレットを持参して家に持ち帰るようになってきているので、そうゆうタブレットを使って、まち歩きなどが実現可能ではないかという話になりました。

大曲中学校では生徒会執行部があって、地域貢献したいという生徒がたくさんいるという話が聞けました。生徒会執行部では、バナナボートの大曲中学校バージョンも出したということです。

はなび・アムまでの道のりと周辺の活性化についてなんですけれども、はなび・アムまで来るにあたって目的地までの道順案内で、一方通行であるため分かりにくいという意見がでているそうです。また、マップ等があれば案内しやすいのではなどの話ができました。

アーカイブズでは、小学生を集めて大曲の歴史を学んでもらうためのマップ作りをしたそうです。次は自分たちで作ったマップを持ち歩いて、いろんな所を見て気がついた所を付け足していくことをやるそうです。

実際にはなび・アムだけを考えるのではなくて、池田氏庭園とか大曲を含め大仙市全体の施設同士が繋がれば更に観光が進んで、そこを回る人が増えるのではないかという意見ができました。

「大曲の偉人」のほうに関わってくるのですが、本郷家住宅で秋に小学生の皆さんを対象にワークショップをやっているのですが、その中で宝探しゲームとか、笹舟を作ったりしているんですけれども、そういう所で、大曲の偉人の方のクイズとか学習的な部分を含めながらワークショップをしていければいいと思います。

実際にアーカイブズでは既に偉人の資料を作成しているということでした。グループ全体で話をしていても、やはり大曲の偉人に関してもう一度学び直す必要があるのではないかということでした。小学校3年生以上になると、各学校で歴史を学ぶ時間があるそうで、その中で、もう少し大曲の偉人に関して学ぶ時間ができれば、子どもがファンになって子どもがファンになると自然に大人もついてくるのではないかといった意見がありました。

あと、駅の観光情報センターでは大仙市全体の観光案内をしていて花火だけに特化しているわけではないので、なかなか花火のさらに深掘りした情報を提供するの難しいという話がありました。大曲駅の利用者はサラリーマンが8割、9割を占めているので、なかなか観光する人が大曲に来ているという現状がないので、やはりはなび・アムの中で、大仙市全体でこのようなことをやっているとか、紹介できる場所が設置できれば良いと思いました。実際にお土産の販売機とか自動販売機を設置することは可能なようなので、是非はなび・アムでも自動販売機だったら設置した方がいいという意見ができました。

観光物産協会がはなび・アムでやっている、ピアムショップというお店があるんですけれども、そこでは食に関する話を聞かれるのが一番多いそうです。

○会長

Bグループから発表していただきましたが、Aグループの皆さんから質問・ご意見などございませんでしょうか。またBグループの皆さんから補足などございませんでしょうか。

○花火産業推進課花火伝統文化継承資料館 松井一樹 副主幹

訂正ですが、地域の案内人のところで、中学生の案内人育成をしているという発表がありました。現状は検討段階でございます。今後やりたいという方向で進めようとしているところであります。

○三浦隆吾委員

今日の新聞に書いてありましたけれども、秋田県の小中学生の学力が上位を占めるといふ記事が載っていました。全国的にも周知されていることで、私は長野県に住んでいたのですが、なんで秋田県の人ってそんなに頭がいいのって言われるんですけども、そういう意味では、全国的に秋田県はそういう目で見られている。賢い人が多い県なんだと思います。その中でおもてなしマイスターですとか、中学校の生徒会執行部の方たちが地域の方と協力し合っって一つものを商品化するということであったりとか、いろんな企業と生徒さんとか、子供とご年配の方だったり交流がうまくいっている可能性が高いと思います。そういうのも含めて、さっきの偉人の話というのも、なかなか他の地域では聞かないと思います。そもそも偉人の勉強しようという発想がないと思う。そのような中で、大仙市はすごく良い取り組みをしているので、それを拡散するというかPRしていくことが一つの武器になると思うので、そこを次の段階として周知していくところでやっていけたらいいと思う。

○柴田裕子委員

大曲の偉人と言っても、どの方が偉人に該当するものなのか。ただ名声があるとか、政治家的な方とか、大臣経験者だとか、ただそれだけでなく、榊田清兵衛さんだけでなく、例えば藤木では高階家という方がいらっしやって水路を整備していただけたとか、いろいろな方々がいらっしやるので人選が大変難しいのではないかと思います。どのような基準で偉人というのかが悩むところだと思います。以前、小学生の副読本みたいな感じで、その地域の社会貢献した方々を書いたものがあつたはずですので、その方々を基本にして広げていったらいいのではないかと思います。

○会長

他に何かございませんか。

なければ、Bグループの報告を終了したいと思います。

他に全体として何かご質問等はございませんか。

○松塚孝治委員

はなび・アムの隣の砂利の駐車場はこのあと何かやる計画があるのですか。

○花火産業推進課花火伝統文化継承資料館 竹村宏之 館長

砂利の駐車場ですが、民間の方から借りている土地であります。

かつて正面しか駐車場がなかった時は大変駐車場が不足していたという時期もありまして、正面に置けない時に隣の駐車場に置いていたという活用もしておりましたが、今は後ろの方や青少年ホーム跡地にも駐車場が整備されて、そこで賄えるような状況になっております。隣の駐車場を使ってイベント的なものを行ってみたり、逆に隣に車を置いてもらって、正面で何かイベントを行ってみたりというような使い方を想定しております。いろいろアイデアを出し合いまして活用していきたいという思いがあります。

○会長

他に何かありませんか。

無いようですので、今日の協議はいったんここまでにさせていただきたいと思います。

次に、次第5の報告（1）に移ります。

「地域枠予算の令和4年度の活用状況について」事務局より説明をお願いします。

○事務局(遠藤主幹)

【資料に基づき説明】

令和4年度の活用状況について概要を報告。

○会長

事務局より報告がありました。

皆さんから何かございませんか。

なければ、次第5の報告を終了します。
本日の議題等については以上であります。
続きまして、次第の6の「その他」にうつります。
皆さんから、何かございませんか。
無いようですので事務局のほうからお願いします。

○事務局(高橋主幹)

今日の意見交換の時間内で話せなかったことについては、後日、任意様式で意見を提出していただきたいと思います。今後につきましては、事務局から各関係機関・団体へ、活性化策の最終形や今回の会議の内容をフィードバックして事務レベルで取り組みの実施に向けた協議・調整をしてまいりたいと思います。その後は、事務局が「はなび・アムと周辺の取り組み」について全体構想・事業計画を策定し委員の皆様にもご報告したいと思います。

次に、昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染拡大の影響で、開催が見送られてきました地域協議会委員全体研修会についてですけれども、今年度は、10月1日(土)午後2時から、大曲市民会館大ホールにて開催いたします「大仙アカデミー 市民が主役で元気になる地域づくり講座」への参加を考えております。

この講座は、市が、地域づくりへの参画を促すための学習機会を提供することで、人も地域も元気になることを目的に開催するものであります。

講師には、株式会社タニタ 代表取締役社長 谷田 千里 (たにだ せんり)氏をお招きしまして、「タニタが健康を大仙から世界へ届ける」と題して行われます。

近くなりましたらご案内の通知を差し上げたいと思いますが、地域が元気になるための仕組み作りや、地域の課題掘り起しなど、地域づくりの参考となる講座となっておりますので是非ご参加いただきたいと思います。

最後ですが、委員の皆様は資料と一緒に、第3期移住・定住促進アクションプランの方向性等に対する意見についてということで、アンケート用紙をお配りしております。本日お持ちの方はご提出いただきたいと思いますが、本日お持ちでない方は後日FAX等でご提出いただきたいと思います。

以上です。

○会長

事務局から今後について連絡がありましたが、皆さんいかがでしょうか。

特になければ、以上で本日の会議を閉じさせていただきます。

皆さん長時間にわたりご苦労様でした。

(午後 8時 00分 閉会)

大曲地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
